

2018年度 パフォーマンス向上会議不適合報告情報(2018年11月29日(木)分)

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年11月29日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 4 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備冷却海水系海水放出弁において、シート部に漏えいが認められたため、当該弁を点検・修理。	GⅢ	
2	3号機	補機冷却海水系電解鉄イオン供給装置原子炉補機冷却系第2中間ループ熱交換器(A)注入流量計後排水弁において、シート部に漏えいが認められたため、当該弁を交換。	GⅢ	
3	3号機	残留熱除去機器冷却系熱交換器(A)において、伝熱管全2706本中8本に内面減肉が認められたため、当該伝熱管を交換。	GⅢ	
4	その他	400MHzデジタル移動無線切替装置電源盤(原子力防災資機材には該当しない)において、動作不良(警報発報試験時、警報が復旧せず)が認められたため、当該電源盤を点検・修理。 なお、移動無線機のバックアップであるデジタル簡易無線(トランシーバ)は正常なため、緊急時の通信手段は確保されている。	GⅢ	